

平成20年度決算概要

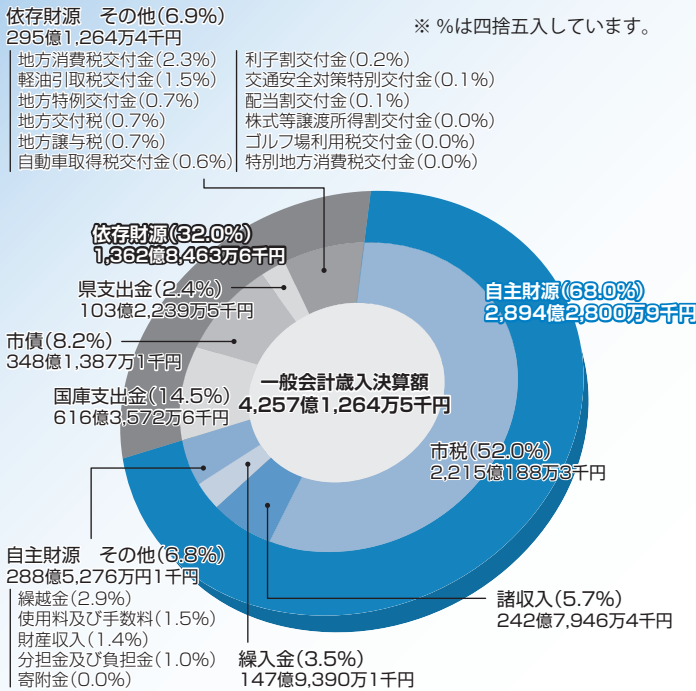
さいたま市の財政

本市では、市民の皆さんに納めていただいた税金などがどのように使われているのかをお知らせするため、年2回財政状況を公表しています。この度、平成20年度の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

なお、平成19年度決算から、財政の早期健全化を目的とし、自治体の財政の健全度を全国一律の基準により算出した比率を公表しています。本市の財政状況は、すべての指標に対して健全です。数値など、詳しくは、市ホームページをご覧ください。

一般会計歳入決算の内訳

本市の一般会計歳入の決算額は、4,257億1,264万5千円となりました。内訳は、主となる市税が52.0%を占めており、諸収入などと合わせた自主財源の比率は、68.0%となっています。



市税

市税の合計額は、2,215億188万3千円で、市民の皆さんに納めていただいた市税の1人当たりの額は、18万2,179円でした。市民1人当たりに使われた額は、32万7,666円でした。差額の14万5,487円は、国からの補助金や借入金(市債)などで補いました。

特別会計

本市には、国民健康保険など、19の特別会計があります。決算額は、歳入が1,785億7,435万4千円、歳出が1,743億3,734万円でした。

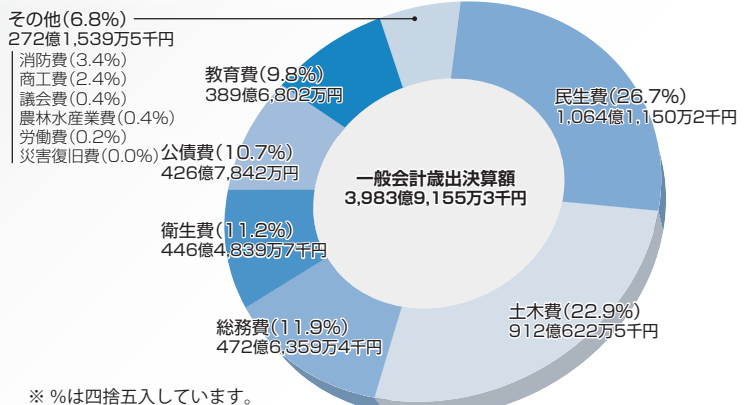
歳出の上位3位は、国民健康保険が945億8,128万1千円、介護保険が467億5,219万4千円、後期高齢者医療が134億5,992万3千円でした。

企業会計

■水道事業会計	収入…420億3,879万円
	支出…501億4,167万2千円
■下水道事業会計	収入…407億5,584万5千円
	支出…488億9,105万7千円
■病院事業会計	収入…122億4,333万6千円
	支出…126億6,288万2千円

一般会計歳出決算の内訳

本市の一般会計歳出の決算額は、3,983億9,155万3千円でした。これを款別に分類すると、民生費が1,064億1,150万2千円で全体の26.7%を占めており、ほかに土木費が912億622万5千円(22.9%)、総務費が472億6,359万4千円(11.9%)、衛生費が446億4,839万7千円(11.2%)、公債費が426億7,842万円(10.7%)、教育費が389億6,802万円(9.8%)、その他が272億1,539万5千円(6.8%)となっています。



平成20年度の主な事業

- ▶子育て支援医療費助成事業
- ▶JR川越線 西大宮駅設置事業
- ▶埼玉サッカー100周年記念事業
- ▶さいたま市民医療センター整備事業
- ▶浦和駅周辺鉄道高架化事業
- ▶盆栽関連施設等整備事業
- ▶シルバーバンク事業
- ▶つばさ小学校建設事業
- ▶テクニカルブランド企業認証事業
- ▶窓口申請パッケージ化事業
- ▶英語教育充実推進事業
- ▶新クリーンセンター整備事業
- ▶学校図書館司書の配置
- ▶情報システム最適化事業

詳しくは、財政課(☎829・1154、FAX829・1997)へ。